

## 2 中学部の経営

### (1) 学部経営の基本

- ・めざす姿 「仲間と一緒に、最後まで取り組むことができる生徒」
- ・学部目標
  - 【いきいき】安心できる環境の中で、進んで活動したり、最後まで取り組んだりする意欲や態度を育てる。
  - 【なかよく】自分の思いを伝える力を育てる。  
まわりの人と適切に関わる力を育てる。
  - 【すこやか】健康の維持・増進と体力の向上を図る。

### (2) 本年度の取組

◆は学校経営計画 成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
ア 安全・安心	生徒が安全に安心して生活し、活動できる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教室の安全点検を定期的実施し、安全な環境を整える。</li> <li>・生徒の健康管理について学園と情報共有し、対応を周知、実践する。</li> <li>・感染症拡大防止対策に基づき、衛生的な環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重大事故発生0件</li> <li>・各教室の安全点検：月1回</li> <li>・学園との情報共有：毎朝、適宜</li> <li>◆「感染症防止対策・指導に取り組んでいる」と答える教員100%</li> </ul>
	人権に配慮した環境の整備と、互いの良さを認め合っより良く関わる態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権に配慮した対応を実践する。</li> <li>・個々に応じた思いの伝え方や、適切に関わる態度について指導する。</li> <li>・生徒が自分のよさや、友達のよさを認め合い、発表し合う場を設定する。</li> <li>・「すんえん3か条」や「毎月の生活目標」について振り返る場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いいことメモリー（自分と友達の良いところ見つけ）」の実践：週1回</li> <li>・「すんえん3ヶ条」や「毎月の目標」の振り返り：全校集会月1回、朝の会や帰りの会等で適宜</li> <li>・生徒が安心して過ごすための環境整備や人権に配慮した関わりができた」と答える教員100%</li> <li>・生徒が適切な関わりをする場面が年度当初から増えた」と答える教員100%</li> <li>◆「人権・道徳教育を通して児童生徒が互いの良さを認め合う環境づくりができた」と答える教員100%</li> </ul>
イ 授業	生徒一人一人に応じた確かな成長・発達を支える授業づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動6区分27項目を活用した実態把握、目標設定、指導の実践、評価をする。</li> <li>・自立活動を活用した実態把握や、卒業後の社会生活に必要な力を身につける観点から、「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」を作成し、目標や支援を共通理解して指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画や指導計画の検討と確認：学期ごと</li> <li>・自立活動6区分27項目を活用した実態把握や目標の設定ができた」と答える教員90%</li> <li>◆「自立活動6区分27項目を意識して個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成することができた」と答える教員90%</li> </ul>
	生徒が自分の目標に向かって「いきいき・なかよく・すこやかに」学び伸びゆく授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修テーマに沿った授業づくり、授業改善を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内授業研の実施：年2回</li> <li>・生徒の深い学びにつながる授業を行い、生徒のあらわれからその姿が確認できたと答える教員90%</li> <li>◆「児童生徒の確かな成長（資質能力の向上・目標達成）につながる授業づくりができた」と答える教員90%</li> </ul>

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
	自立と社会参加に向けた資質・能力の育成を目指すつながりある指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の身辺処理の確立、感染症を含む自己管理に対する指導を実践する。</li> <li>・仲間と協働して活動する場面を設定する。</li> <li>・清掃、リサイクル、組み立て等、作業の要素を取り入れた指導を実践する。</li> <li>・学年に応じた進路指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身辺処理や自己管理に対する指導：保健指導月 1 回、日常生活の指導として毎日</li> <li>・仲間と協働して活動する場面や作業的活動のある授業の実践：通年</li> <li>・進路に関する指導：適宜</li> <li>◆「身辺処理や清掃活動に関する個々の目標を共通理解して取り組み、達成することができた」と答える教員 100%</li> </ul>
ウ 連携	地域・学校・関係機関・家庭との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や学園職員、児童相談所、市町の福祉課等と、生徒の学校での様子や生徒を取り巻く状況について情報共有し、連携を図る。</li> <li>・併設施設との日々の連絡を細やかに行う。</li> <li>・関係機関や保護者からの相談や要望に丁寧に対応したり、進路に関する情報を学園職員や保護者に伝えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導連絡会：年 1 回</li> <li>・市町個別支援会議：年 2 回</li> <li>・移行支援会議：適宜</li> <li>・学園との情報共有：毎朝、適宜</li> <li>・進路指導委員会：適宜</li> <li>・保護者懇談会、面談：学期に 1 回</li> <li>・保護者対象の進路学習会：年 1 回</li> <li>・保護者や併設施設との情報共有や、関係機関との連携を図ることができたと答える教員 90%</li> <li>◆「教育活動の中で、地域や関係機関、家庭とのつながりを生かすことができた」と答える教員 90%</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源（人・もの・こと）を活用する学習を進める。</li> <li>・生徒の実態に応じた、地域の役に立つ活動や、取り組みを地域に発信する活動を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用または取り扱う学習の実施（特産、風土、伝統工芸、地域貢献等）：学校間交流を含めて 6 回以上</li> <li>◆「地域と児童生徒のつながりや役立ち方を考えて働きかけができた」と答える教職員 90%</li> </ul>